

愛知工業大学同窓会関東支部2009年活動方針

2009年4月10日

関東支部長 水野政光

昨年6月1日関東支部は2008年総会と第8回技術交流セレクションを開催した。三代目支部長として2回目の開催になった。幸いにも念願していた後藤 淳総長を迎えることができたことは誠に意義深いことであった。また鳥人間コンテストに出場された現役大学院生の出席と水谷准教授による講演『琵琶湖の夏空に飛ぶ「人力飛行機愛工大号」』を企画実行が出来価値ある総会になった。総会においてご挨拶をいただく中で来年すなわち2009年に愛知工業大学創立50周年を迎えることが報告され、大学における50周年記念行事、計画概要を聞くことができ出席者一同改めてその意義を確認することができた。

2009年関東支部計画についてー

1. 本年は総会そして技術交流セレクションを4月19日に決定していた。会場も「きゅりあん」を確保して具体的な計画を進めていた。しかし残念ながら二宮和彦副支部長の関西への転勤の報がもたらされたこと、一昨年の奥田えり子副支部長の転勤と合わせて主要幹部2名を欠くことになってしまった。2月12日本年第1回目の幹事会において検討した中で、いかにも準備を進めることが手薄であることを確認して本年の総会開催を延期することにした。
2. 大学創立50周年について関東支部は当然慶賀の気持ちとその誇りを共有するようにして、大学で開催される諸行事に積極的に参加することを確認している。
3. 瑞若会についても支部長会議を含めて関連事業について幹事それぞれ出席していくことを確認している。
4. 関東支部において幹部人事を更新しなければならない。幹事会、拡大幹事会を開催して次代を担う幹部を育成していかなければならない。
5. 来年2010年総会は模様替え改革した姿を披露したい。そのためにも幹事会構成を拡大し、親睦を深めて支部活動を活発化したい。

問題点

1. 1962年(昭和37年)第1回卒業生以降から幾星霜経過する中で定年引退者が増加している同窓会も当然これらの学友との親睦交流をしていかなければならない。
2. 若年同窓生を網羅できていない。年々年齢差が開き、親子以上の年齢差を表している。焦眉の現象であり、特効薬的な解決策がないのが正直なところである。昨年の支部長会議に関東支部から提案させて頂いた「若手世代参加のための連絡方法改善の提言」等同窓会本部にも協力要請する。

まとめー

愛知工業大学創立50周年の意義を考え一人でも多くの同窓生との親睦交流を図りたい世代・学部・異業種など乗り越えて同窓生の連携を深めていく。

以上